



Profile

昭和25年、杉戸町生まれ。杉戸町在住。杉戸町立豊岡小学校、杉戸町立東中学校、埼玉県立杉戸農業高等学校を卒業。昭和60年、運送会社を立ち上げ、平成11年に杉戸町議会議員に初当選。以来、三期を務める。平成21年7月に杉戸町長に就任。性格は情熱的で、モットーは「自分のためよりも人のために」。

古谷松雄 杉戸町長

FURUYA Matsuo

We invited Mr. KITAMURA Kaoru, who is a Naoki Prize writer and lives in this town even now, to talk with the mayor of the town on Nov.18, 2010.

Mayor: Mr. Kitamura, you won the Naoki Prize in July, 2009, the same month of the year I became the mayor. You were awarded the Honor of the Town and have been supportive of our PR activities since then, regardless of your hectic life.

KITAMURA: Sugito Town is so flat all around and its calmness is all about the town. It may be short on fun for some visitors, but this is what Sugito is and makes people relaxed. Also, there is no need to worry much about natural disasters.

Mayor: It is important to have many young people in Sugito Town for its development. We need to secure employment by expanding the industrial complex while enhancing nursery schools and kindergartens to eventually have a larger population and make the town more active.

KITAMURA: I commuted to college from here. This is within commuting distance of Tokyo. Working in the city center and going back to the comfortable city of Sugito Town. Relieving the weariness, feeling nature, and going back to work in Tokyo.

Mayor: I'd like to ask for your continuous support for regional development of friendly neighbors by helping each other. Thank you for coming today.



古代米を栽培したりして、取り組んでいます。古代まつりの日には、飯ごうでご飯を炊いて食べます。ご飯といえば、学校給食では、杉戸産のコシヒカリを使用しています。県内でも米飯給食が多いことで知られています。野菜も、地元の新鮮で安全なものを使うようになっています。

【北村】牛乳なんかも？

【町長】そうですね。江戸川の草を食べて育っているんですよ。

【北村】そうなんですか。

【町長】ええ。あそこで放牧するのはなく、牧草を育てて刈って、丸くまとめて牛舎に持っていくのです。

【北村】地元の草を食べて育った牛の乳を、子どもたちが給食で飲んでいる。健康的な感じがします。そういった地産地消の取り組みを、子どもたちに伝えておられるのですか？

【町長】各学校で取り組んでいますよ。地元農家さんの協力で米づくりや野菜づくりを体験したり、アグリパークゆめすぎ

とても田植え体験をしたり。勉強も大事なのですが、やはり、子どもたちが自分で体験することが大事だと思うんです。大人たちは、自分たちの体験を、ぜひ子どもたちに伝えていってほしいですね。

【北村】時代の影響で、パソコンとか携帯とか、テレビもそうですけど、画面を見て、現実には触れないようなことが多くなっています。現実の外の空気を吸って、外で遊ぶようなことをやってもらいたいですね。

——町の個性と可能性を生かして

【町長】杉戸町の発展のためには、多くの若い人が杉戸町で暮らせるようにしていくことが大事だと考えています。保育園や幼稚園を充実させつつ、産業団地の拡大などで雇用を確保する。おのずと人口も増え、町も活性化していくと考えています。

【北村】私も、大学へここから通いましたし、東京の通勤圏ですね。

【町長】東武動物公園駅から東京駅まで、約1時間ですから。

【北村】ベッドタウンというのは決して悪いことじゃないです。都心で働いて、帰る先はおだやかな住みよいまち。疲れを休め、自然にふれて、また東京へ働きに行く。

【町長】都会と比べると、四季の移り変わりがよくわかる環境にあります。

【北村】土手に菜の花がばあつと咲いたり、田んぼが一面の緑になって色づいたり。私は杉戸町に住んでいる者なので、まだ余生何年かしばらく過ごすことになると思いますので（笑）、町長には、ぜひ住みよいまちにしていただきたいと思っています。

【町長】わかりました。協働で助け合いができる、みんなが隣近所のような地域づくりをしていきたいですね。またお力添えをいただけたらと思います。本日はありがとうございました。

※平成22年11月18日に杉戸町役場において行いました。